

# 大 学 史 研 究 通 信

第 90 号 2017 年 9 月 30 日 (土)

大学史研究会

第 90 号の内容：第 40 回大学史研究セミナーのお知らせ・会場校へのアクセス・自由研究発表者募集・セミナーでの宿泊について・会員新刊ニュース・『大学史研究』編集委員会からのお知らせ・事務局からのお知らせ・退会者の報告・編集後記・大学史研究会事務局員一覧

## 第 40 回大学史研究セミナー開催のお知らせ

第 40 回大学史研究セミナーを、香川大学において開催いたします。シンポジウムでは、近代日本の「学生」に着目し、井上義和氏（帝京大学）と和崎光太郎氏（京都市学校歴史博物館）にご登壇いただきます。プログラムの詳細につきましては、改めてお知らせいたします。

日時：2017 年 11 月 18 日（土）、19 日（日）

会場：香川大学幸町キャンパス 生涯学習教育研究センター（次頁地図参照）

内容：シンポジウム、総会、懇親会（以上、11 月 18 日開催）

自由研究発表（11 月 19 日開催）

シンポジウム「近代日本の学校システムによる学生の包摂と排除」

和崎光太郎（京都市学校歴史博物館）

「ピラミッド型学校階梯の機能 ―包摂が生み出す「排除」、排除が生み出す「包摂」―

井上義和（帝京大学）

「雄弁青年と右傾学生 ―順応と逸脱のあいだで考える」（仮）

司会：船勢肇（大阪芸術大学・阪南大学）

### <シンポジウム趣旨>

異質な隣人と矛盾や対立をかかえながら、公共空間を共有し関係を構築していくことは、どのように試みられてきたのでしょうか。エリートになろうとする少数の男子が中心であった近代日本の学生は、〈青年〉ともよばれ、異質な存在ともみられました。そして、その存在は学校階梯システムへの順応を求められ、一方では能動的に活動し逸脱した存在ともなりました。

〈青年〉概念に込められた規範に着目することや、国家や社会に働きかける者が登場し、かつ排除された事例をみることは、包摂と排除という観点から公共空間を考察することでもあります。たとえば、大学人を批判して排除された日本主義者の学生の主張に立ち入ってみることも、近代日本の大学の特質を考察することに貢献するでしょう。

今セミナーでは、かかる問題意識をもとに、和崎光太郎氏と井上義和氏にご登壇いただきます。すでに、近代日本における青年という存在については、内田義彦氏と塩田庄兵衛氏による古典的な研究（『近代日本思想史講座 4 知識人の生成と役割』筑摩書房、1959 年）があります。これを参照しつつ、近年の成果をふまえた議論をするために、明治期の〈青年〉概念の研究をされてきた和崎光太郎氏と、大正期から昭和期における学生思想運動を対象にされてきた井上義和氏に、それぞれの立場からお話ししていただきます。

このような課題につき、活発に議論できればと思います。万障お繰り合わせのうえ、ぜひご参加ください。

（セミナー担当：船勢肇）

## 会場校へのアクセス

JR 高松駅から

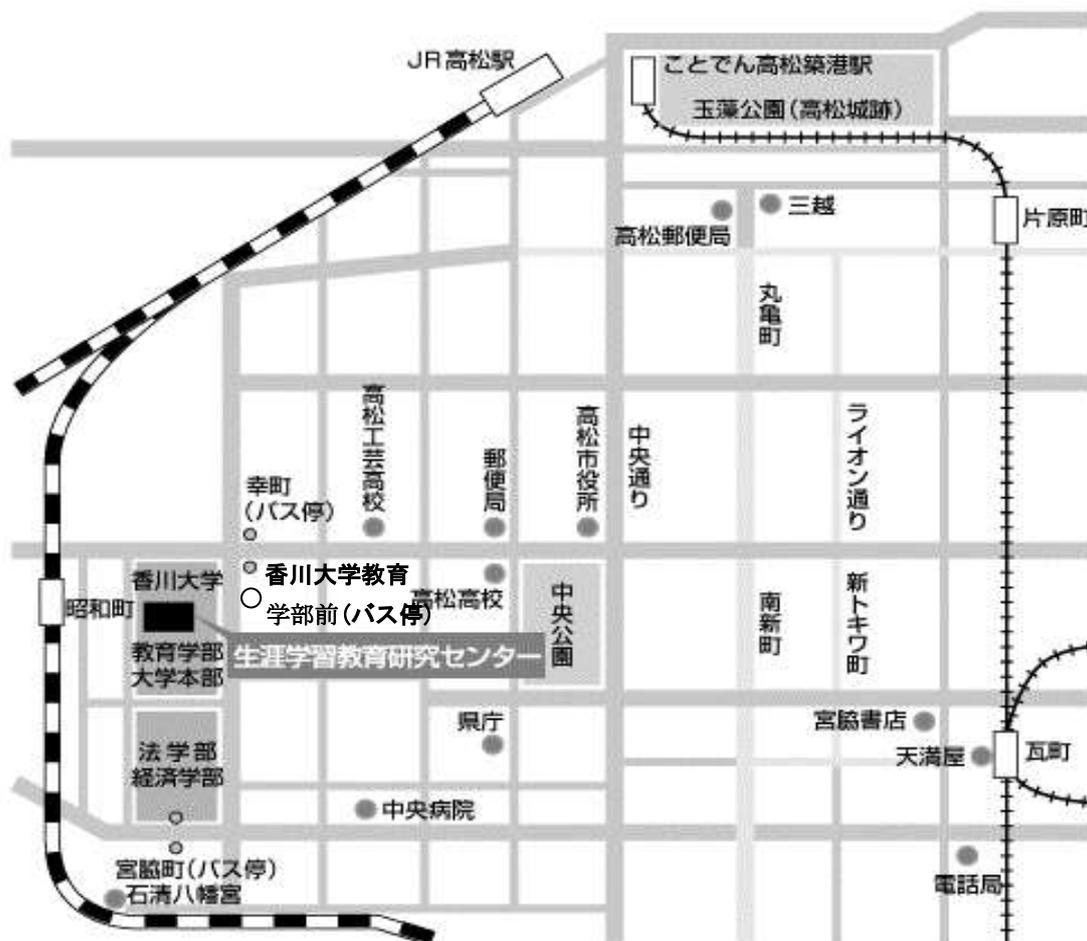
【徒歩】25分

【まちなかループバス】東廻り・西廻り行き「香川大学教育学部前」下車 徒歩2～3分

【タクシー】800円程度

JR 昭和町から

【徒歩】5分(一時間に一本の運行です)



## 自由研究発表者募集

第40回大学史研究セミナーでの自由研究発表(11月19日開催)を募集致します。発表時間は、発表件数にもよりますが、質疑応答を含めて一時間程度を予定しています。通常の学会よりも、じっくりと報告・議論できることが本会の自由研究発表の特徴です。発表を希望される方は、**10月21日(金)までに**、セミナー担当の深野まで、発表タイトルを添えてご連絡下さい。お申し込みの形式は問いません。奮ってお申し込み下さい。

[自由研究発表申込・セミナー問い合わせ先]

事務局セミナー担当 深野

E-Mail: fukano@daigakushi.jp

〒599-8231 堺市中区学園町 大阪府立大学高等教育推進機構 深野政之

TEL & FAX: 072-254-9548

(セミナー担当: 深野政之)

## セミナーでの宿泊について

香川大学で開催されるセミナー期間中、高松市及びその近郊において多くのイベント等が開催されます。すでに現時点でも、宿泊施設に限りがあります。参加予定の方は、至急、宿泊施設の確保をお願いいたします。

また、会場校の方で、学内にある「幸町会館」及び近隣ホテル（会場まで徒歩20分）「ホテル川六」を確保しております。先着順ではありますが、宿泊ご希望の方は山本珠美（連絡先Email:yamamoto@cc.kagawa-u.ac.jp）までご連絡いただければ、残室状況を確認のうえ、折り返しご連絡いたします。なお、すでに予約で満室になった場合は、ご希望に添えませんので、ご容赦ください。

「幸町会館」（ビジネスホテル程度のアメニティあり）

特別室（バス・トイレ付き）2,500円 残り1室

普通室（バス・トイレ共同）2,200円 残り7室

「ホテル川六」（1名利用不可、2～5名利用になります） 残り1室

2名で宿泊の場合、10,200円/室（一人あたり5,100円）

5名で宿泊の場合、18,000円/室（一人あたり3,600円）

（会場校：山本珠美）

## 会員新刊ニュース

藤岡真樹『アメリカの大学におけるソ連研究の編制過程』法律文化社、2017年2月。

## 『大学史研究』編集委員会からのお知らせ

紀要『大学史研究』は26号の年内の刊行を目指し、取り組んでおります。お待たせした分、十分な内容になるよう作業を進めております。一方で、刊行の遅延を解消すべく27号以降の企画を編集委員会に於いて検討を進めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

（紀要担当：岡田大士）

## 事務局からのお知らせ

大学史勉強会を8月、9月と行いました。8月は大学史研究に関する英文の論集を用いた抄読会、9月は香川のセミナー企画に関連して、登壇予定の先生方のご研究をセミナー担当の船勢さんにご紹介いただきました。10月も引き続き勉強会を開催いたしますので、ご興味のある方は事務局メールアドレスにお問い合わせください。

<10月の勉強会>

10月28日(土)19:00～ 中央大学後楽園キャンパス 6号館4階6409教室

以下の論文集から2編程度紹介の予定です。

Edited by Roy Lowe, *The History of Higher Education: Key Themes*.

ISBN:9780415384698

（事務局代表：岡田大士）

## 退会者の報告

2017年3月末をもって、下記の方が退会されました。本会の活動にご協力賜りまして誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

新谷 恭明 会員  
阿久津正幸 会員

### <異動に伴う会員情報更新の届出をお願いいたします>

所属や住所等に変更のある会員は、事務局までご一報ください。ホームページ掲載の「事務局連絡先」フォーム、あるいは年会費払込票（郵便口座）の「通信欄」を利用することも可能です。

また、今後は会員の皆様への連絡を、「通信」と併せてメールで配信していくことも検討しております。事務局へのご登録が旧アドレスのままの方や、メールアドレスの登録をされていない方はご連絡いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

(会員情報担当：浅沼薫奈)

## 編集後記

通信第90号をお届けいたします。目前に迫った第40回大学史研究セミナーは、近代日本の学生に焦点をあてて議論が行われます。明治・大正・昭和と連なる時代に学生はどのような存在だったのか、セミナー当日が待ち遠しいです。

次号は2018年1月を予定しております。セミナーの様子をご報告する予定です。

(通信担当：山本尚史)

『大学史研究通信』第90号の編集は、事務局・山本尚史が担当いたしました。

連絡先：yamamoto.hisashi@nagasaki-joshi.ac.jp

『大学史研究通信』第91号は、2017年12月28日発行予定です。

### 大学史研究会事務局

<事務局連絡先>

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

中央大学法学部 研究室受付 岡田大士気付 大学史研究会

Tel&Fax: 042-674-3151 E-mail: daishi@home.nifty.jp

ホームページ <http://daigakushi.jp/>

事務局へのお問い合わせは、なるべく下記代表 E メールアドレスまでお願い致します

E-mail: jshshe@daigakushi.jp

### 大学史研究会事務局員 (五十音順)

浅沼 薫奈 (大東文化大学)

岡田 大士 (中央大学)

長谷部 圭彦 (早稲田大学)

深野 政之 (大阪府立大学)

船勢 肇 (大阪芸術大学・阪南大学)

山崎 慎一 (桜美林大学)

山本 尚史 (長崎女子短期大学)